評価の概要

（１）GPS 時系列データに含まれる季節的変動誤差の補正モデル構築に関する研究
（事後評価）

研究内容としては成果をあげていると評価される。実用化に向け、一層努力されたい。

（２）緊急防災情報としての震源断層即時推定手法の開発に関する研究（終了時評価）

研究内容としては成果をあげているが、即時推定をすることの意味、意義についてさらに検討し、実用化の方向に進められたい。

（３）SAR 衛星の位置情報の高精度化を通じた地盤変動抽出の高度化に関する研究
（終了時評価）

衛星の軌道位置を精度よく推定することに関しては成果をあげているが、実際に地盤変動抽出を行うためには、データを速やかに得られるように JAXA 等との連携が必要となる。その点も考慮し、実際に実用化するような方向で研究を進められたい。

（４）高密度地形データを用いた斜面崩壊予測のための大縮尺地形分類手法の開発
（終了時評価）

表層崩壊に関しては優れた成果をあげていると評価できる。国土地理院の事業として実際に斜面崩壊予測の地図や情報を整備するに当たっては、その位置づけを明確にして進めていくことが望ましい。

全体として、共同研究あるいは外部研究機関との連携を図り、それらとの意見交換を行いつつ、さらに発展させる形で研究を遂行する方向が望ましい。